

保護司会会報

発行 西多摩地区保護司会 会長 原島 悟 編集 西多摩地区保護司会 広報部 発行日 令和5年7月15日



提供：福生市 「第69回(2019.8) 福生七夕まつり写真コンクール入賞作品」



西多摩地区保護司会
会長 原島 悟

ご挨拶

西多摩地区保護司会の皆様におかれましては、平素より更正保護活動にご尽力賜わり厚く御礼申し上げます。

この度、西多摩地区保護司会会長を受けることとなり、皆様のお力をお借りして微力ながら精一杯取り組んでいく覚悟しておりますので皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

この数年コロナ禍の影響で日常の活動が制限され、当り前の生活がかげがえのないものだったと改めて感じています。

そうした中、西多摩地区保護司会創立七十周年を迎えることが出来ました。多くの先人の長い歴史があり、ご苦労、ご努力に感謝を表したいと思います。

また、保護司会は大きな転換期を迎えています。法務省で「保護司確保への検討会」の初会合が行われました。保護司の高齢化や減少傾向が続いており、人員確保問題が上がっています。

サポートセンター手狭に伴う移転問題、羽村駅西口区画整理事業の関係で西口会議室を明け渡さなければならぬ問題など、早期に対策を考えなければならぬと思います。また、「第七十三回社会を明るくする運動」が開催されます。各市町村の推進委員長を中心に保護司、更正保護女性会、各団体、学校などと連携を強化し、各地区独自の社会を明るくする運動が展開されます。犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことの出来る明るい地域社会を築き、罪を犯した人の立ち直りを支えることが今後益々重要な活動になります。

日常生活がようやく戻り、活動も再開されます。皆様の切なるご協力をお願い申し上げます。

令和五年度 西多摩地区保護司会 定期総会

令和五年四月二十八日、前年と同じ秋川ふれあいセンターにて定期総会が開催されました。所属保護司総数一三二名のうち、出席九十五名、委任状三十一名の一二六名の参加でした。乙津豊彦総務部長の司会で始まり、對馬伸一郎副会長の開会の言葉から、原島悟会長の挨拶、来賓の紹介を経て、あきる野分区長の新井俊數氏が議長として認定案件の令和四年度事業報告、決算報告、監査報告並びに令和五年度事業計画案、収支予算案、令和五年度・六年度役員選任案の承認を受けました。

その後、新会長の挨拶、新役員
の紹介、退任保護司への感謝状、
記念品の贈呈及び退任代表者の謝
辞を経て、あきる野市吉野敏郎副
市長、立川支部秋山夕子統括保護
観察官に西多摩桐友会下嶋和彦会
長、西多摩更生保護女性会岸野節
子会長からの御祝辞を頂き、小野
静江副会長の閉会の言葉をもって
盛会のうちに閉会となりました。

広報部 中野 修



新井議長



あきる野副市長



前中村西多摩会長



原島会長



各分区長



会場風景



ご来賓の皆様

着任の挨拶



東京保護観察所
立川支部長
土公千鶴

この春の異動で、立川支部長として着任いたしました。立川支部での勤務は初めてですが、立川支部周辺は生活歴のある思い出の場所ですので、この地で勤務できること、大変嬉しく思っております。

さて、ここ数年、大きな影響を及ぼし続けた新型コロナウイルスもようやく落ち着きを見せ始め、少しずつですが、日常が戻りつつあることと思えます。西多摩地区におかれましても、これまで見送られていた様々な活動が再開できるようになりますこと、そして、皆様にお目にかかって、西多摩地区の更生保護についていろいろお話を聞かせていただけますことを楽しみにしております。支部長としての仕事は初めてで、至らぬ点も多いことと思えますが、皆様に御教示いただきながら、精進してまいりたいと思っておりますので、どうぞくれぐれもよろしくお願ひ申し上げます。



東京保護観察所
立川支部
主任保護観察官
尾崎文子

あきる野、日の出、奥多摩、檜原の各分區を担当させていただきます尾崎と申します。

西多摩地区を担当させていただくのは初めてです。先日「東京アドベンチャーライン」に終点まで乗車し、コロナ禍以来の深呼吸をして、とても心地よく感じました。

当職は保護司さんの各種研修会のこと務等も担当しています。西多摩地区の保護司の皆様方にきちんとご説明し、安心してご活動いただけるよう努めたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



東京保護観察所
立川支部
主任保護観察官
鳥海理瑛子

令和5年4月から瑞穂分區の担当になりました保護観察官の鳥海（と

りうみ）と申します。立川支部での勤務は初めてで、地区を担当するのも二年ぶりです。3月までは全国の更生保護に関する統計をとりまとめる部署で数字をにらむ日々を送っていたため、保護司さんをはじめ関係各所の方々とやりとりさせていただくのは久しぶりで、改めてありがたく感じております。至らない点多々あるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。



東京保護観察所
立川支部
保護観察官
齋藤潤二

福生分區を担当させていただきます齋藤です。

犯罪や非行を犯した人たちの立ち直りのために、日夜尽力されている皆様のご努力とご苦労に対し、心から敬意を表します。また、コロナ禍において日常生活を模索しながら、日々の処遇を行っていただいておりますことに深く感謝申し上げます。何かと不行き届きもあるかと存じますが、皆様としっかり協同しな

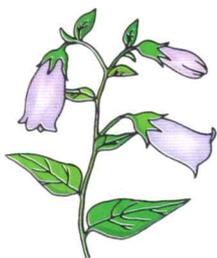
がら歩んでいきたいと思えます。皆様のご多幸、ご健勝を心からお祈り申し上げます、着任の挨拶とさせていただきます。



東京保護観察所
立川支部
保護観察官
大内麻裕

この4月から、西多摩地区のうち、青梅分區と羽村分區の担当をさせていただきます。お願ひいたします。

西多摩地区の前任者からは、「西多摩の保護司さんとはとにかく熱心で素敵な方ばかり」と聞いております。そんな西多摩地区の先生方の良きパートナーとなるよう、まだまだ保護観察官としても社会人としても未熟者ではございますが、一生懸命取り組んで参りたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。



表敬訪問

総務部 對馬 伸一郎

役員改選を経た正副会長五名が西多摩保護区内八名の首長さんを各分区長と共に訪れ、新任の御挨拶を申し上げます。

各首長さんからは、行政の長としての街づくり、将来の発展に向けた構想を含蓄あるお話を通じて何うことが出来ました。

また、西多摩地区保護司会にとって積年の懸案事項である西口会議室機能向上のための移転に関する件、更に新型コロナウイルス五類引き下げ後の社会を明るくする運動の在り方についても具体的な助言やご示唆を頂きました。

各所、限られた時間ではありましたが、参与の方々のお陰で大変有意義な訪問を行うことができました。

〈訪問日〉

5月9日 あきる野市 日の出町

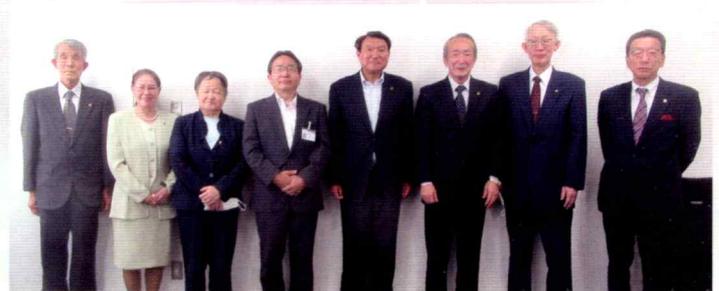
羽村市 青梅市 瑞穂町

5月12日 福生市 奥多摩町

5月24日 檜原村



福生 加藤市長



青梅 浜中市長



あきる野 中嶋市長



羽村 橋本市長



日の出 田村町長



瑞穂 杉浦町長



檜原 吉本村長



奥多摩 師岡町長

「社会を明るくする運動」作文コンテスト 東京都公立小学校校長会 会長賞

明るい社会を目指して

羽村市立武蔵野小学校 六年

岡部 菜月

学校の道徳の授業である動画を見ました。その動画は、少年院で生活をしているお兄さんたちに向けて芸人さんが「命」についての授業をする動画でした。動画の初めに教室に芸人さんが入ってきた時、お兄さんたちは笑顔でした。その後も授業で質問をされている時も熱心に答えたり、話を聞いたりしていました。

この動画を見て私は二つのことを考えました。一つ目は笑顔になることは大切だということだと思います。なぜそう思ったかというと、笑顔になったら楽しい気持ちになれるからです。少年院にいたお兄さんたちも、過去につらいことがあったはずだけど、命の授業を受けて笑顔になり楽しい気持ちになっていました。私は前に国語の授業で習ったことを思い出しました。それは、楽しいから笑うのではなく笑うから楽しいというものでした。つらい時こそ笑うことが大切だと思いました。

二つ目は、少年院にいたお兄さんたちはなぜ罪を犯してしまったのかということだと思います。その理由は人によって様々ですが、その一部には自分の身の回りの環境のせいということもあると考えました。具体的には

家が貧しかったり、ぎゃくたいを受けていたり、そのことがきっかけで罪を犯してしまいう人も少なくないと思います。実際、少年院にいたお兄さんたちのなかには、問題の多い環境で育って罪を犯してしまっただけでもよくできれば、犯罪、非行は少なくなると思います。

熱心に話を聞いたり、質問に答えたりしている姿を見て私は、お兄さんたちは人生をやり直そうとしているように見えました。一度罪を犯してしまっただけで社会に立ち直るためには、周りの人たちの支えや気づきが必要だと私は考えます。一度罪を犯してしまっただけで、立ち直った後も周りの人からは、「罪人」という目で見られてしまうと思います。それは周りの人が悪いわけではないし、私も最初はしょうがないことだと思っていました。ですが、お兄さん

ちのことは見ていたら考えが変わりました。お兄さんたちは一生けん命立ち直ろうとしているのに、周りが支えてくれなかったら立ち直れないと感じました。

だから私たちがするべきことは立ち直るのをじゃまする、ひはんするのではなく、応えんして支えてあげべきだと考えました。具体的には、差別をしない、周りの人と同じように接するということがあると考えます。たくさんの方がこのことを意識すると、罪を犯してしまっただけで立ち直れる社会になると思いました。もちろん犯罪を犯してしまっただけで自分自身もしっかりと反省することで、周りの人にも受け入れてもらえるようになると思います。

すべての人が協力し、笑顔になれる明るい社会を、

犯罪・非行のない明るい社会を、
犯罪を犯した人をみんなで支え合い立ち直れる明るい社会を、

みんなで実現できるように、私もその一人として協力していきたいです。

西多摩地区 更生保護女性会 との協議会開催

令和五年六月十九日に西多摩地区更生保護女性会（以下更女）との協議会が三年ぶりにあきる野市役所にて開催されました。

西多摩地区保護司会からは正副会長、常任理事の各地区分区長が出席しました。

開催挨拶で原島会長からは、更女の支援がなければ保護司会の活動も成り立たない、と日頃の活動



への感謝を述べられました。

更女の岸野会長からも若者達が犯罪に手を染めてしまう前に地域の会員皆で更生保護活動に力を注ぎたい。と力強いお言葉をいただきました。

次に出席者全員の自己紹介をした後、西多摩保護司会の各部の事業内容、活動内容等について説明するとともに各部への事業協力を依頼しました。

座長を務めた原島会長からは保護司会の人材確保の問題、面接場所の確保について、サポートセンターの狭隘に苦慮等の発言がありました。

特に社会を明るくする運動については各地区ともに更女の皆さんに並々ならぬご協力を頂いている現状から課題等の意見を求めた。

更女会員からは駅頭活動を通じて社会を明るくする運動への知名度の低さを感じ一日だけでなく一週間実施案や夕方時でもと積極的にいろいろなご提案をいただきました。

対面での話し合いが出来たことは貴重で有意義な時間であったと感じました。

（研修部長 倉持 恭子）

子育て支援活動

「もうすぐいちねんせい」

羽村市更生保護女性会 会長 田村 あい子

令和五年二月二十一日羽村市プリモゆとろぎ大ホールに於いて、「もうすぐいちねんせい」を開催いたしました。

当日は羽村私立保育園協議会のご協力をいただきまして、市内保育園十六園の年長児二百六十一名が参加して下さいました。

この子育て支援活動は平成十二年羽村市更女の先輩の皆様方が市内小学校で「朝の読み聞かせ」に参加されたことが始まりでした。

その後先輩方のご努力により保育園の園長先生のお力添えをいただきまして「もうすぐいちねんせい」として今日までに至っております。

今回の内容は最初に歌・手遊び・参加園の紹介から始まり、小学校の校長先生の入学に向けたお話しへと続きました。次に羽村マジッククラブによる「マジックショー」が始まると園児達の不思議そうな顔や笑顔もあり、ほっといたしました。コロナ禍による影響で三年間の中止と、大ホールでの初めての開催で不安と

心配が多々ありましたが無事に終りました安堵いたしました。

最後に、西多摩地区保護司会原島会長、西多摩地区更生保護女性会岸野会長のご協力を得て「ホゴちゃんぬりえ」を各保育園の園児全員にお渡しすることも出来ました。いろいろお世話になりましたありがとうございます。



会務報告

新任保護司 (敬称略)

左記の方々が委嘱されました。今後のご活躍を期待いたします。



(福生分区) 田村 敬子 5月15日発令



(青梅分区) 森本乃理子 5月15日発令



(青梅分区) 高野 一樹 5月15日発令



(青梅分区) 白井 敬子 5月15日発令



(青梅分区) 岩本 正司 5月15日発令

退任保護司 (敬称略)

(令和五年五月十五日付) 長い間お疲れ様でした。今後ますますお元気で活躍くださいますよう祈念申し上げます。

木村 一良 (青梅分区) (在職年数 十八年)

関谷 寿夫 (福生分区) (在職年数 十四年)

川津 紘順 (羽村分区) (在職年数 十八年)

町田 富江 (瑞穂分区) (在職年数 十七年)



今後の主な行事予定

Table with 2 columns: 月日 (Date) and 行 事 (Event). Rows include dates from 7月 to 11月 with corresponding activities like '社会を明るくする運動強調月間' and '更生保護相談協力'.

編集後記

保護司会会報第一三九号発行にあたり諸先生方から玉稿をたまり何とか無事に発行することができました。みなさまのご協力に感謝いたしております。

さて、例年になく早い梅雨入りとなりました。雨が十分降って暑い夏の水の準備ができると思えば、ものごとは若干早めに進むのも良いことだと思います。

奥多摩の自然を愛した川合玉堂先生は「平素に在り」とおっしゃっています。常に前もって準備しておくことの大切さを改めて今、思っています。

広報部 木宮 憲子

